

【目次】

1. 歌人・社会運動家の阿部静枝生誕120年、2月28日！
2. 和田春生（労働運動家・政治家）の生誕100年記念報告会を3月19日に開催へ！
3. 労使関係研究協会の講演会「平成の春闘と労使関係の将来」が2月26日に開催へ！
4. 『写真記録・近江絹糸人権争議』のご紹介！

1. 歌人・社会運動家の阿部静枝生誕120年、2月28日！



本年2月28日は、歌人・評論家・社会運動家・政治家として知られた阿部静枝（1899.2.22～1974.8.31）の生誕120年です。阿部静枝（旧性二木志つえ）は1899（明治32）年2月28日、宮城県の生まれ。東京女子高等師範学校在学中、尾上柴舟に師事し、林うた名で歌誌『水甕』に作品を発表。1923（大正12）年、短歌結社ポトナムに参加しています。

1926（大正15）年に第一歌集『秋草』を刊行。以後、『霜の道』、『冬季』、『野道』、『地中』、そして1974年の『阿部静枝歌集』まで6冊を刊行しています。この間、戦前の総同盟機関誌『労働婦人』、『明日』、戦後の民社党機関紙『週刊民社』などで短歌欄選者などを務めています。

戦前、阿部静枝はポトナム同人で活躍する一方、社会民衆党・社会民衆婦人同盟に所属し、婦人解放運動に取り組んでいます。一緒に行動した仲間に赤松明子（吉野作造二女、赤松克麿夫人）や赤松常子（戦後、全織同盟から参議院議員）らがいます。

阿部静枝は戦後もポトナムに所属しつつ、豊島区で区議会議員を務めています。また、民社党系の日婦の会や同盟系の全国婦人の集い、全国文化運動協会などで活躍。1974年に逝去すると当時の民社党委員長・春日一幸は、以下の弔辞を述べています。

「阿部さん、あなたは歌人として高名であられました、同時に民主社会主義運動の指導者として、また婦人解放運動の指導者として数多くの業績をのこされました。昭和初期から夫君阿部温知氏とともに社会運動に挺身され、社会民衆党、社会大衆党、さらに戦後の社会党、民社党を通じ民主社会主義の道一筋を歩んでこられました。短歌を通じて労働組合における文化活動の発展に寄与すること多大でありました。数多くの労働組合で短歌の指導に当られ、文化活動に対する労働者の目を大きく開いたのであります。また民社党中央機関紙『週刊民社』創刊以来歌壇を担当され、民主社会主義運動に従事する人々に心の糧を与えてくれました。阿部さん長い間有難うございました。これで永の御別れと致します。安らかにお眠り下さい。」

2. 和田春生（労働運動家・政治家）の生誕100年記念報告会を3月19日に開催へ！

全労会議書記長などを務めた和田春生（1919.3.15～1999.10.17）は、政治家や評論家としても活躍しました。2019年3月15日は、その和田春生生誕100年。友愛労働歴史館はこれを記念し、開催中の企画展「民社党結党60年—勤労国民政党的旗を掲げて—」（2018.1.7～06.28）の一部に、「和田春生」コーナー（2019.3.15～4.15）を設けます。また、和田春生を取り上げた政

治・社会運動史研究会「和田春生を語る—一生誕 100 年・没後 20 年」を、3 月 19 日（火）午後
に開催いたします。



和田春生は海員組合の出身で、1950 年の総評結成に参加。翌年の総評左傾
化・国際自由労連加盟否決を受け、「4 単産批判」の取りまとめの中心となり
ます。海員組合は全織同盟、全映演とともに総評を脱退、1954 年に総同盟と
ともに全労会議を結成。和田は全労会議の書記長を 10 年間務めます。また、
『労働運動入門』『労働運動の新時代』の著書や多くの労働評論があります。

1969 年、民社党公認で衆議院議員に当選。1974 年には参議院議員となり、
政治家として活躍。政界引退後はラジオなどで評論家としても活躍しました。1999 年に逝去。

<友愛労働歴史館第 19 回政治・社会運動史研究会>

日 時：2019 年 3 月 19 日（火）14：00～16：00

場 所：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「和田春生を語る—一生誕 100 年・没後 20 年」

報告者：「政治家和田春生を語る」 梅澤 昇平 尚美学園大学名誉教授

「労働運動家和田春生を語る」 間宮悠紀雄 友愛労働歴史館事務局長

3. 労使関係研究協会の講演会「平成の春闘と労使関係の将来」が 2 月 26 日に開催へ！

友愛労働歴史館の兄弟組織である労使関係研究協会（小出幸男会長）の第 90 回講演会が 2 月
26 日（火）に開催されます。テーマは「平成の春闘と労使関係の将来、講師は JILPT 労働政策研
究所副所長の荻野登氏です。詳細、参加申し込みは労使関係研究協会 03-3453-5386 へ。

日 時：2019 年 2 月 26 日（火）14：00～16：00

場 所：友愛労働歴史館・研修室（友愛会館 8 階）

テーマ：「平成の春闘と労使関係の将来」

講 師：荻野 登 氏 JILPT 労働政策研究所副所長

4. 『写真記録・近江絹糸人権争議』のご紹介！



この程、日本労働運動史に記録される近江絹糸人権争議を取り上げた新刊書
『写真記録・近江絹糸人権争議—絹とクミアイ』（新評論）が出版されました。
著者は本田一成先生（國學院大學教授）。同書案内チラシ（左写真）によれば出
版社に直接、申し込むと割引特価（定価 2592 円を特価 2100 円）で購入するこ
とができます。新評論 営業部 TEL03-3202-7391、FAX03-3202-5832

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

唯一館から 124 年、友愛会から 106 年